



発行者 楽しい株式会社
 発行責任者 松尾 康志
 住所 北九州市若松区向洋町10番1
 北九州エコタウン実証研究エリア内
 Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303
 E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

ハチドリ通心(信)
 2006年11月号

「ハチドリのひとしずく」いま、私にできること

この物語は、南アメリカの先住民に伝わるお話です。

森が燃えていました。

森の生き物たちはわれ先にと逃げて行きました。

でもクリキンディという名のハチドリだけは、いったり来たりくちばしで水のしずくを一滴ずつ運んで火の上に落としていきます。

動物たちがそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」と笑っています。

クリキンディはこう答えました

「私にできることをしているだけ」

森の火事を環境問題として考えてみたらどうでしょう？

「いま、私にできること」を考え、実行していくことはとても大事なことに思えます。楽しい株式会社は従来定期的に発行していた「環境かわら版」を改め、メリーズモデルの循環の輪を中心にいろいろなハチドリたちを紹介したく「ハチドリ通心(信)」を発行するようにしました。

有機野菜にこだわり続けて50年 下郷農協

「メリーズモデル」は生ゴミと使用済竹割り箸のリサイクル竹炭を利用して完熟堆肥や土壌改良剤を作り、有機野菜農家に提供し、そこでできた農作物を「メリーズモデル」に参加する事業所に提供する安全な食の循環を実現しています。

今回はそのパートナー大分県耶馬溪町下郷農協の横山金也組合長を紹介します。



右が横山組合長



下郷製茶組合組合長田代さん

風光明媚という言葉がぴったりとあてはまる耶馬溪、そそり立つ奇岩、清流山国川、点在する山あいの温泉、そして耶馬溪といえど何と言っても11月の紅葉が見逃せません。

そんな山村に100軒の農家が集まり、1948年に設立されたのが下郷農協、以来50年以上にわたり、化学肥料や農薬をほとんど使わず、有機栽培などのこだわりの農業を続け、しかも市場には一切流さず、消費者に直接届ける産直運動を続けてきたのが下郷農協です。

「家が貧乏やったもので、金なりで金也。その後横山家に養子に出されて横山金也」と笑いながら自己紹介する横山組合長、8年前に四代目の組合長として就任しました。

氏との出会いは3年さかのぼります。

その時、「食は命」「身土不二」を掲げて、化学肥料や農薬の「無機物質」に頼らず自然に根ざした農業で安全・安心にこだわり続ける、と熱く語る横山組合長の話聞き、いつかこの人と組む時が来ると直感をしました。


農産物市場が国際化をし、気がつけば自給率は何と40%、食糧が利潤追求の材料にされ、今はまさに「食をめぐる動乱の時代」と組合長は言います。

下郷農協はこだわりが命と言い、是非消費者に本物の味を知って欲しいと願っています。そんな横山組合長が率いる下郷農協と楽しい株式会社が組み「メリーズモデル」のシステムにより安全な食の循環が実現しました。

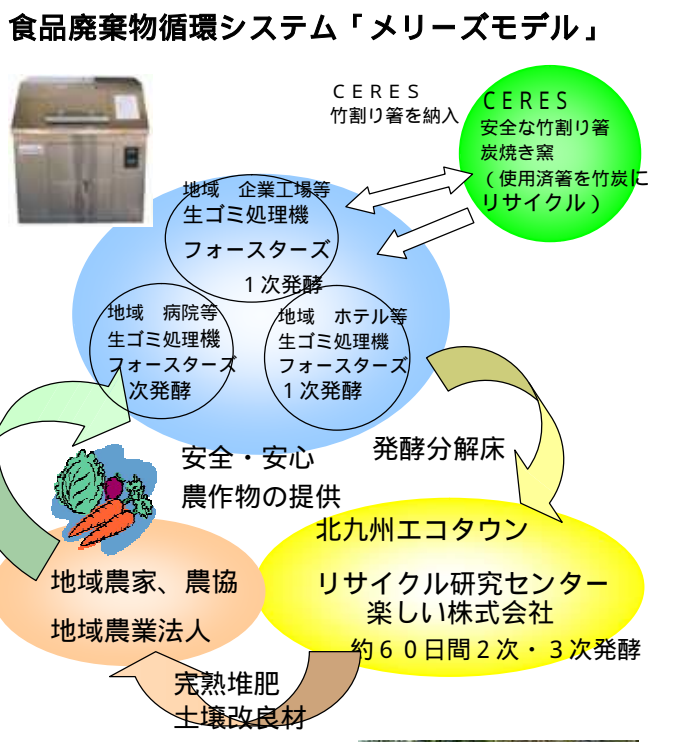
メッセージ

公的規制から自己(自主)規制の時代になってきた。

クリキンディのように自らができることを役割分担で実行し、それが伝われば社会が変わっていくこともある。今の時代は環境と経済と社会(連携)の信用信頼を基にした良好な関係づくりが重要だ。



楽しい株式会社顧問
 同志社大学経済学部
 郡島 孝教授



エコテクノ2006に6年連続出展!
 11月20日(月)~23日(木・祝)
 北九州市小倉北区 西日本総合展示場

顔の見えるリサイクルを目指して・・・
下郷農協見学ツアー参加者募集中!
 11月29日(水) 9:00出発~18:00帰
 楽しい(株)リサイクル研究センターと下郷農協の見学

「廃食油リサイクル竹炭石けん」プレゼント

廃食油に使用済竹割り箸のリサイクル竹炭・竹酢液を加えた、無添加の安全な石けんを作りました。発売を記念し、先着20名の方にプレゼントいたします。裏面の応募用紙に必要事項を記入しFAX下さい。

11月より発売開始

